

消防だより

平成30年6月号

もうすぐ 台風シーズン

毎年、梅雨の時期から秋口にかけて日本列島に接近し、各地で大きな被害をもたらす台風。毎年来ると分かっていても、対策に遅れが出てしまう事が多々あるのではないのでしょうか。自然災害は突然やってきます。常日頃から十分な対策を心がけるようにしましょう。

台風への備え ☆家の外の備えを十分に!!

■家の窓ガラスや雨戸を補強

- ・強風に備え、窓ガラスのひび割れや窓枠のガタつきがないか調べましょう。
- ・万が一、窓ガラスが割れた時のためにカーテンなどは必ず閉めましょう。
- ・雨戸のガタつきや緩み、家の外壁に亀裂等がないか等もチェックしておきましょう。

■家の周りにあるものを移動・固定させる

- ・風によって飛散する可能性のある植木や置物は室内へ。
- ・室内へ移動が困難なものは支柱を立てるなどして補強を行いましょ。
- ・瓦やトタンは強風に飛ばされると大変危険ですので、ひび・割れ・ずれ・剥がれはないか確認し、事前に修理を行うようにしましょう。



■床下の浸水対策

- ・浸水の被害を防ぐため、家財や家電等は高所もしくは2階に移動させるのが安全です。漏電や感電を防ぐためコンセントは抜いておきましょう。

☆近隣の建物や道路を知る

- ・土砂災害や鉄砲水になるかどうかを見分けるためには、平常時と異常時の濁流の流れる方向や速さの違いを確認しておくことが大切です。

☆最新の災害情報の確認

- ・こまめに気象情報を確認しましょう。

非常用品の備蓄

～備えたい台風グッズ～

- ① 停電時に使用する懐中電灯
- ② 着替えやタオル
- ③ ライター、マッチ
- ④ 救急薬品
- ⑤ 携帯ラジオ
- ⑥ 貴重品
- ⑦ 断水時にも飲料水の確保できるペットボトルやウォーターサーバー
- ⑧ 最低3日分の非常食
- ⑨ 防災グッズセット

～台風対策と防災グッズ～

- ① 窓ガラスの補強
- ② ベランダの不要物の撤去
- ③ 雨戸のガタつきの確認及び補強
- ④ 屋根や外壁等の補強
- ⑤ 土嚢の準備



久米島町 消防団

新消防団長
ひろみつ
平良弘光さん



▲辞令交付式

※火災の早期発見と『逃げ遅れ』を防ぐために住宅用火災警報器を設置しましょう。
住宅用火災警報器の交換の目安は10年です。定期的に作動の確認をしましょう。

○消防法及び市町村条例(平成23年6月施行)により、すべての住宅に火災警報器の設置が義務づけられました。

※火入れを行う地域の皆さんは必ず消防本部まで連絡するようお願いします。

※火事・救急・救助は119番へお願いします。



4月出動状況

()は、平成30年累計

- | | |
|-----------------|----------------|
| ・救急 …… 27件(99件) | ・風水害 …… 0件(0件) |
| ・火災 …… 0件(0件) | ・捜索 …… 0件(0件) |
| ・救助 …… 1件(1件) | ・その他 …… 2件(2件) |

合計…… 30件(102件)